

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2018・6月号

石川県学校生協黒字化 3 か年計画の最終年

2018 年度予算 4年ぶり黒字化予算25万承認

6月12日(火)に石川県学校生協の第70回通常総代会を開催しました。今年度は、黒字化3か年計画の最終年。ホップ、ステップ『ジャンプ』の年です。黒字化にむけて、予算は黒字の25万円を提案しました。昨年度(2017年度)学校生協の赤字額は▲1,763万円でしたから、そんなことが可能なのか?と言われそうですが、そのために私たちは、明治安田生命津幡営業所のなないろプラザへの入館、屋上に太陽光発電設置による売電、全員利用運動の再検討、退職職員の不補充等の対策をしてきました。この4大政策で何とか達成できるのではないかと考えています。

そこで、皆さんに3つのご協力をお願いします。

- 1つは、売上の増加です。**全員利用運動(3+1)に御協力**をお願いします。
- 2つ目は、**指定店の利用**です。3つ目は、「学校生協でも、こんなものを扱ってください」と言った**要望・意見の提出**です。よろしくお願いします。



明治安田入館(右:松井支社長)

2018年度5月 ▲329万円の赤字。それでも計画目標はクリア!

石川県学校生協の2018年度5月末現在の経常損失金は▲329万円です。計画は▲479万円の予算です。すから計画目標はクリアしています。残念ながら実績は赤字ですが、昨年同期▲717万円と比較すると388万円の改善です。今年度のスタートダッシュとしては、良かったと思います。これからはこの計画予算額との戦いです。来年の3月末には、何としても黒字になっていなければなりません。

みなさんの石川県学校生協です。石川県学校生協をもっともっと利用してください。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

《学校生協と私》 寺井小 深田 有香

私がはじめて生協に出会ったのは子どもの頃、母が近所の仲間とともに参加した生協まつり(地域生協)だったかと思えます。それまでも、生協のお菓子はいろいろと口にして、おいしかった記憶がたくさんあります。

それから十年くらいして私が、教師になった時学校にも生協があることを知って、先輩の先生に誘われたこともありすぐに入りました。本やCDがわざわざ買に行かなくても購入でき、しかも、お得であること、なつかしの生協ならではのお菓子があったことなど、いろいろ魅力を感じていました。

加入して何年かたつと、さまざまな年代のニーズに合った商品や提携しているお店があることも知り、それも大きな魅力であると思っています。最近では、長男が大学進学する際スーツから何から一式を指定店で購入しました。割引やポイントなどさまざまな特典がありました。他にも冠婚葬祭やマイホームに至るまで多方面に指定店があることも驚きです。でも、そんな特典はみんなが学校生協を利用することで生まれるのです。よりたくさん生協の輪が広がり、よりたくさん組合員の笑顔へとながらばいいなと思います。



編集後記 五種類の野菜たちのその後

なないろプラザのエントランスにプランターがあります。前回の4月6日には「スナック豌豆、キュウリ苗、レタス、スティックブロッコリー、イチゴ」の五種類の野菜が植えられていました。

2か月後の6月20日では、スナック豌豆はもう撤去され、代わりにミニトマトが植えられ、キュウリは良く実りましたが、もう末期です。スティックブロッコリーは、まだ脇茎が出て食べられているのですが、小さな虫がついて別の場所に移動させています。レタスはもう収穫が終わり、黄色のミニスイカが小さな実を付けています。イチゴは、大きな赤い実が沢山実り、来年に備えて貰われていきました。ですから、今、プランターは4つです。あと一つは、たくさん実を付ける万願寺唐辛子でもしようかなと考えています。なないろプラザに来られた時に覗いて見てください。(ほその)